

特別支援教育

教職課程科目 / 1 単位 / T 授業

担当教員 藤原 直子

■使用テキスト 小林倫代編・著「改訂版 教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト」

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

障害児者の教育支援、発達支援、福祉支援のあり方は、刻々と変化している。学校教育現場においても、これまでの「障害児のための特別な場における教育」から「通常学級や支援学級などの場にかかわらず援助ニーズがある子どもにはそこに応える教育」へと移り変わり、定着しつつある。

この講義は、特別の支援を必要とする幼児児童生徒に対する理解を深め、具体的な対応方法を習得することを目的としている。通常の学級にも在籍している発達障害や知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児児童生徒が学習や活動に参加している実感や達成感をもちながら学び、生きる力を、身に付けていくことができるよう、幼児児童生徒の学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して対応していくために必要な基本的な知識や支援方法を修得することを目指す。

そのための一般目標は以下の2点である。

- 1) 特別の支援を必要とする幼児児童生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。
- 2) 特別の支援を必要とする幼児児童生徒の教育課程及び支援の方法を理解する。

到達目標

- 1) 特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。
- 2) 発達障害や知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児児童生徒の障害の特性及び心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解している。
- 3) 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難について、基礎的な知識を身に付けている。
- 4) 発達障害や知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児児童生徒に対する支援方法について、具体的に示すことができる。
- 5) 特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解している。
- 6) 特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することができる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

テキストにしたがって、特に以下の内容に注目して学習を進めてください。

また、テキストで紹介されているどの障害についても、本書の他に数多くの書籍やDVDが発行されています。テレビ、雑誌、インターネット等における情報も多々あります。世論や社会の状況に応じて刻々と変化していく内容もありますので、自分が関わりのある分野・対象だけでなく、さまざまな分野で情報を収集していくことをお勧めします。

第1章 特別支援教育とは

我が国における共生社会の形成に向けた取り組みを理解したうえで、インクルーシブ教育システムや特別支援教育の理念を理解すること。

特別支援教育の歴史と現状を理解し、障害のある幼児児童生徒に対する今後の特別支援教育の推進について学ぶこと。

第2章 特別支援教育推進の仕組みと実際

子どもが生まれてから就学するまでのシステムや制度、障害のある子どもを育てている保護者の心情を理解すること。

個別の指導計画、個別の教育支援計画、個別の支援計画それぞれの違いを理解し、PDCAサイクルにより指導する方法を学ぶこと。

特別支援学校のセンター的機能を理解し、それぞれの地域での活用方法を知っておくこと。

第3章 小・中学校等における特別支援教育

学級担任一人で子どもを支援していくのではなく、園・学校全体で見えていくことを理解し、校内委員会や特別支援教育コーディネーターの役割や活用方法を学ぶこと。

特別な支援を必要とする幼児児童生徒への関わり的前提として、「温かい学級経営」「全ての子どもにとってわかりやすい授業」であることを理解すること。

バリアフリーとユニバーサルデザインの理念を理解し、教育におけるユニバーサルデザインの在り方を学ぶこと。

通級による指導が活用できる子どもの実態を理解し、インクルーシブ教育システムにおける役割を把握すること。

特別支援学級における対象や障害種、特別の教育課程の編成について、基本的な内容を理解すること。

第4章 発達障害児等の理解と指導

発達障害の定義や診断基準を学び、主な発達障害について心理社会的な特徴を理解すること。二次障害の問題についても知っておくこと。

学習障害(LD)の概念や特徴を理解し、子どもに適した学習方法や自己肯定感を維持していく支援方法を学ぶこと。

注意欠陥多動性障害(ADHD)のタイプや特徴、ライフサイクルにおける症状の変化と発達課題を理解し、環境調整や肯定的関わり方を学ぶこと。

自閉症スペクトラム障害(ASD)の特性を理解し、人間関係の構築や教科の学びを深める指導について学ぶこと。

情緒障害、言語障害の定義や症状を知り、障害のある子どもへの対応方法を学ぶこと。

第5章 障害児の発達特性と指導

特別支援学校の教育課程の特色、知的特別支援学校の教育課程、重複障害のある子どもの特別の教育課程を知り、障害の種類や状態に応じた教育内容を学ぶこと。

視覚障害と聴覚障害の特徴を理解し、障害のある子どもが安心して生活できる環境や学習指導方法を考えること。

知的障害の定義と特徴を理解し、生活に結び付いた具体的な活動や多様な経験ができる支援方法を考えていくこと。

肢体不自由や病弱・身体虚弱の子どもの特徴や心理を理解し、個々に必要な支援・配慮ができるよう、具体的な支援方法を学ぶこと。

資料

障害児者及び特別支援教育に関連する法規の抜粋が記載されている。学校における教育・支援を行うためには、前提として関連法規を把握しておくこと。